



2026 年 7 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社ダイドーリミテッド
代表者名 代表取締役社長 執行役員グループ C00 成瀬 功一郎
コード番号 3205 (東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 執行役員 経営管理室長 林 修平
(TEL. : 03 - 3257 - 5022)

子会社の異動を伴う株式取得に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社 4strengX の発行済株式の全てを取得し（以下「本株式取得」といいます。）、当社の子会社とすることについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式取得の目的・理由・方法

当社グループは、2026 年 2 月 27 日に公表した第 2 次中期経営計画「進化と飛躍」において、「グローバルブランドビジネス プラットフォーマー」への進化・飛躍を掲げ、顧客への創出価値最大化を軸とした事業成長・企業価値向上を追求するため、その柱の一つに「事業ポートフォリオの再構築」を位置付け、M&A による非連続な成長の実現に向けた検討を進めてまいりました。

株式会社 4strengX は、「高品質なプロテインを誰もが手に取りやすい価格でお届けする」という理念のもと、プロテインブランド「Verifyst（ベリフィスト）」の企画・開発・販売を行っております。世界中から厳選した原料と、3 kg の大容量サイズに特化した独自の商品設計により、優れた栄養価とコストパフォーマンスを両立させ、Amazon をはじめとする大手 EC サイトを主要な販売チャネルとして、ホエイプロテイン、ソイプロテイン、シェイカーボトル等を展開しております。

国内プロテイン市場は、健康志向の高まりや食シーンの多様化を背景に堅調な成長を続けており、粉末プロテイン市場は 2025 年に 1,300 億円を超える規模まで拡大しております。対象会社は、こうした成長市場において、ヒット商品創出力、EC 販売におけるマーケティング・運営ノウハウ、および高い資本効率性を兼ね備えたビジネスモデルにより明確な競争優位性を確立し、直近では売上高・営業利益ともに前年比 2 倍を超えるペースで急成長を実現しており、今後も継続的な成長が見込まれております。

当社グループはこれまでアパレル・テキスタイル領域を中心に事業を展開してまいりましたが、アパレルと親和性の高い成長市場である「ウェルネス」および「ビューティー」領域に進出することにより、顧客に対して「外側を彩る」アパレルと「内側から整える」ウェルネスの両面から価値を提供し、顧客生涯価値（LTV）の最大化を実現するとともに、事業ポートフォリオの成長領域への幅出しを促進することが可能となります。

本株式取得により、対象会社が有するヒット商品創出力、マーケティング力および EC 販売ノウハウを当社グループ内に取り込み、既存ブランドの EC 展開強化に活用することでグループシナジーの創出を見込むとともに、当社グループの経営および事業運営基盤を対象会社に提供することにより、対象会社の一層の事業拡大を支援してまいります。また、対象会社の高い売上成長率、高利益率および高資本効率の財務数値は、当社の連結業績に対して即時にポジティブなインパクトをもたらすものと見込んでおります。

2. 異動する子会社の概要

(1) 商号	株式会社 4strengX	
(2) 所在地	埼玉県戸田市新曽南二丁目 13 番 26 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 山口 祐司	
(4) 事業内容	プロテイン関連製品等の企画、開発、販売等	
(5) 資本金	6 百万円	
(6) 設立年月日	2023 年 10 月 2 日	
(7) 大株主及び持株比率	個人株主 4 名 ※相手方の意向により個人名の開示を控えさせていただきます。	各 25.00%
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
(9) 当該会社の最近 2 年間の財政状態及び経営成績		
	2024 年 9 月期	2025 年 9 月期
純資産	10 百万円	128 百万円
総資産	86 百万円	366 百万円
1 株当たり純資産	17,739 円 85 銭	214,834 円 25 銭
売上高	88 百万円	1,370 百万円
営業利益	6 百万円	187 百万円
経常利益	6 百万円	187 百万円
当期純利益	4 百万円	118 百万円
1 株当たり当期純利益	7,739 円 85 銭	197,094 円 39 銭
1 株当たり配当金	0 円 00 銭	0 円 00 銭

(注) 当該会社は 2023 年 10 月 2 日に設立されたため、最近 2 年間の経営成績及び財政状態として 2024 年 9 月期と 2025 年 9 月期を記載しております。

3. 株式取得の相手先の概要

相手方①

(1) 氏名	相手方の意向により開示を控えさせていただきます。
(2) 住所	
(3) 上場会社と当該個人の関係	該当事項はありません。

相手方②

(1) 氏名	相手方の意向により開示を控えさせていただきます。
(2) 住所	
(3) 上場会社と当該個人の関係	該当事項はありません。

相手方③

(1) 氏名	相手方の意向により開示を控えさせていただきます。
(2) 住所	
(3) 上場会社と当該個人の関係	該当事項はありません。

相手方④

(1) 氏名	相手方の意向により開示を控えさせていただきます。
(2) 住所	
(3) 上場会社と当該個人の関係	該当事項はありません。

4. 取得株式数、取得価格及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個) (議決権所有割合：0 %)
(2) 取得株式数	普通株式 600 株 (議決権の数：600 個) (議決権割合：100%)
(3) 取得対価	取得価額：2,300 百万円 (注) 取得関連費用 (概算額) 151 百万円 合計 (概算額)：2,451 百万円
(4) 異動後の所有株式数	普通株式 600 株 (議決権の数：600 個) (議決権割合：100%)

(注) 当該取得対価のほか、2026 年 9 月期における一定の業績目標の達成を条件として、追加対価 300 百万円を支払う予定です。

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2026 年 7 月 23 日
(2) 契約締結日	2026 年 7 月 23 日
(3) 株式譲渡実行日	2026 年 8 月 31 日 (予定)

6. 今後の見通し

本株式取得が 2027 年 3 月期 (第 104 期) の当社業績に与える影響については精査中であり、開示すべき事項が生じた場合には速やかに公表いたします。

以 上

本株式取得について



- 2026年7月23日付でプロテインの企画・販売を手がける株式会社4strengXの株式譲受に関する契約を締結し、当社の連結子会社とすることを決議
- 中期経営計画で掲げた「事業ポートフォリオの再構築」の一環として、アパレルと親和性が高く成長市場である「ウェルネス」および「ビューティー（インナービューティー）」領域で高い成長を実現している対象会社を取得することで、当該市場（事業）に進出し、当社グループの飛躍的な成長につなげる
- 2027年3月期（FY2026）の第3四半期から当社グループの連結業績に対象会社の業績が取り込まれる予定



プロテインブランド Verifyst（ベリフィスト）の企画・開発・販売

「高品質なプロテインを誰もが手に取りやすい価格でお届けする」という理念のもと、プロテインの栄養価を保ちながら世界中から原料を厳選して仕入れ、「Verifyst」ブランドで大手ECサイトを中心に販売

Verifyst

3kgという大容量サイズに特化したプロテイン。
おいしさとコストパフォーマンスを実現し、
amazonを中心としたECでのみ展開。



① 中期経営計画で掲げた「事業ポートフォリオの再構築」の加速化実現

- 本件の戦略的位置付けは、2026年2月27日に公表した中期経営計画「進化と飛躍」の4つの柱の1つである「事業ポートフォリオの再構築」に当たり、アパレルと親和性が高く、成長市場である「ウェルネス」市場への進出、事業展開により売上/利益成長を実現
- 対象会社の事業は、市場成長期にあるプロテインの企画・販売を主力とし、ビジネスモデル、商品力において明確な競争優位性を確立、顧客/市場からの評価を獲得しており、今後も継続的な成長が見込める

② ビジネスプラットフォームにおける商品企画力・EC販売ノウハウの内製化とグループシナジーの創出

- 対象会社が保有するヒット商品創出力（企画力）とマーケティング、ECチャネルにおける販売ノウハウをグループ内に獲得し、今後当社グループの既存事業/ブランドのEC展開に活用することでシナジーの創出を見込む

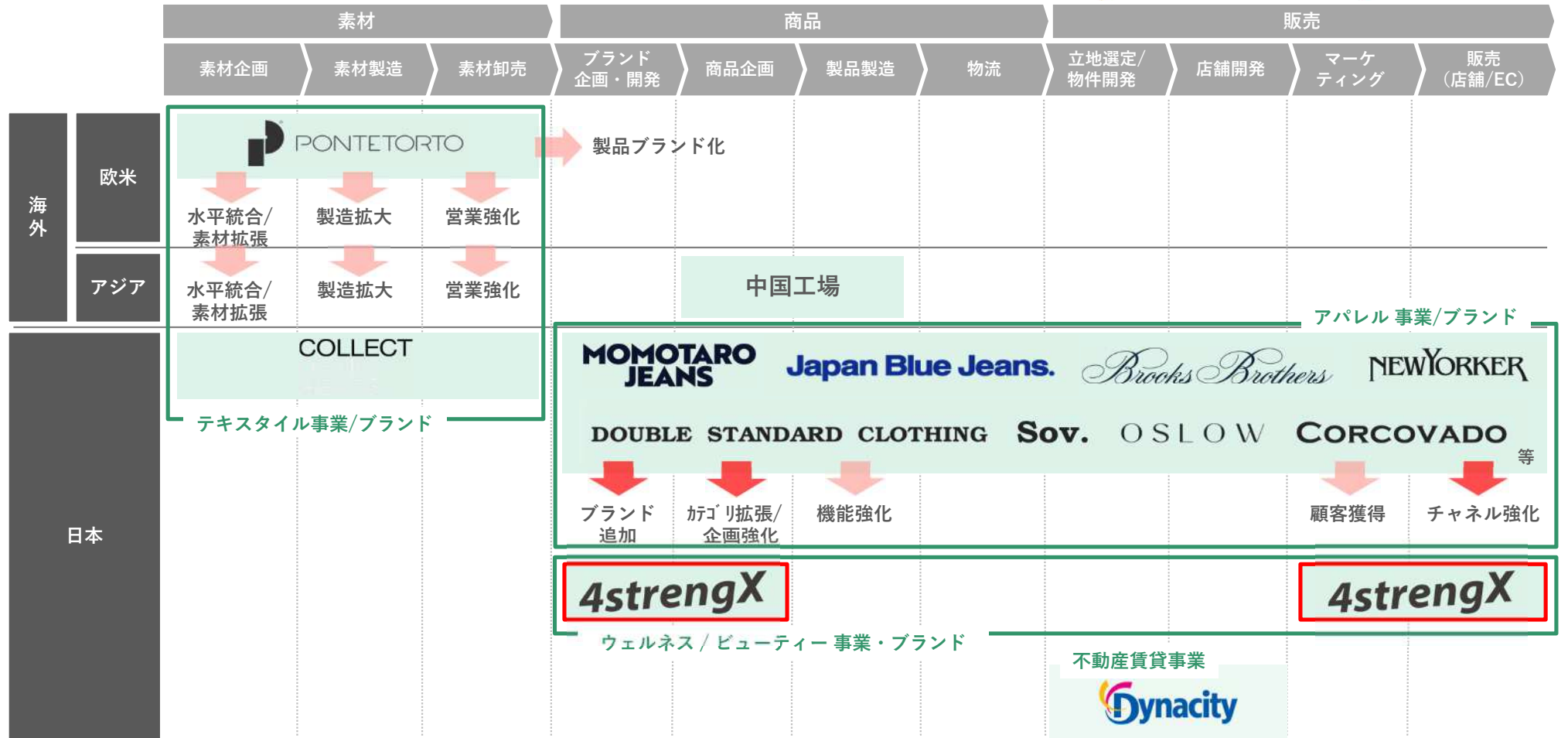
③ 即効性のある連結業績へのポジティブ・インパクト

- 対象会社の高売上成長、高利益率、高資本効率の財務数値は、連結業績の向上に即時寄与

当社事業ポートフォリオにおける本株式取得の位置付け

本株式取得により「ブランド追加」「カテゴリ拡張」「チャネル強化」等を実現
今後も追加のM&Aにより企業価値向上を加速化

4strengX 事業/機能範囲 ➡ 本件における対象領域 ➡ M&A検討の方向性



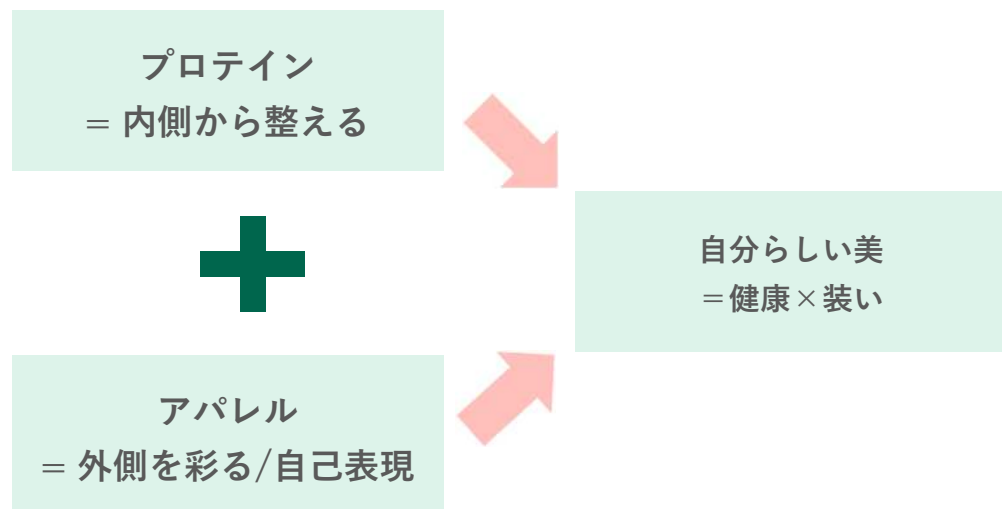
顧客視点で見た当社グループの提供価値 / 当社グループとしての戦略的位置付け

「アパレル」「ウェルネス」「ビューティー」の組み合わせにより、顧客に対する提供価値の最大化＝顧客のLTV最大化を実現
「成長市場での事業展開」の幅出しを促進

顧客（消費者）視点で見た提供価値

当社グループ事業個別の提供価値

顧客（消費者）視点で見た提供価値



当社グループとしての戦略的位置付け

① 「アパレル」「ウェルネス」「ビューティー」の組み合わせにより、顧客に対する提供価値の最大化＝顧客のLTV最大化を実現

- 消費者に対して、「内（プロテイン＝栄養・体づくり）」と「外（アパレル＝装い・自己表現）」の両面で価値提供を実現することで、提供価値の幅を広げ、価値を上げ、顧客LTV（Lifetime Value：顧客生涯価値）を最大化

② 事業ポートフォリオの観点から、「成長市場での事業展開」の幅出しを促進

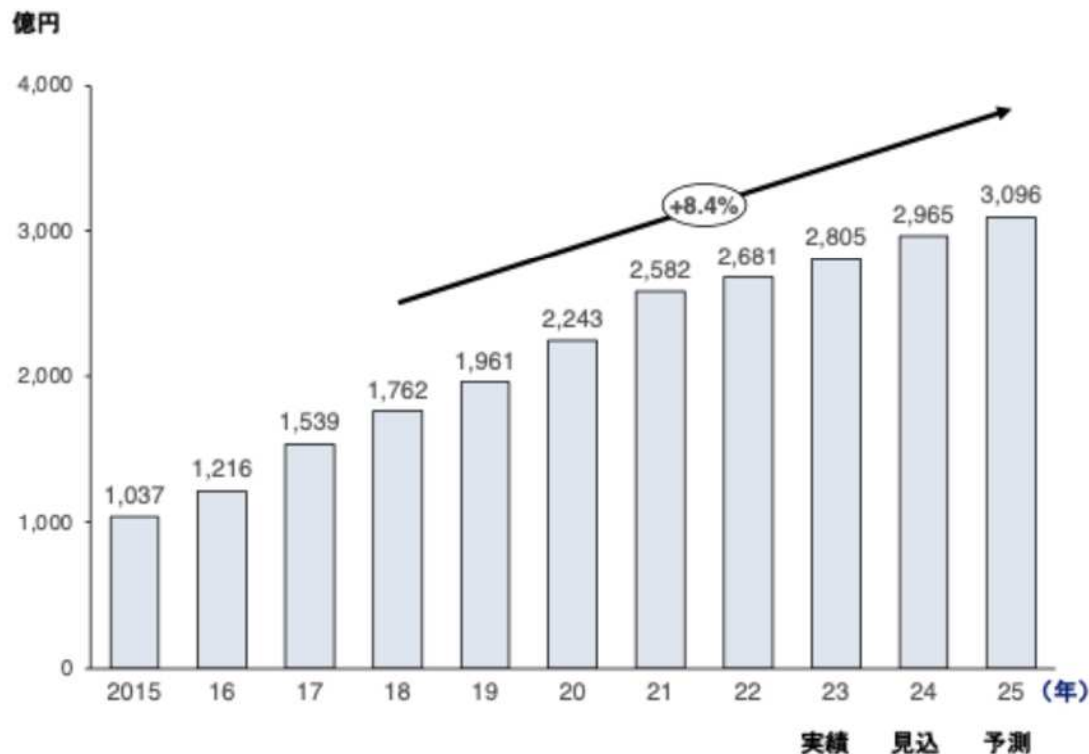
- 「業界/業種/カテゴリ」×「市場（国内/海外）」で成長領域における事業展開を進めることで、当社グループとして高成長/高収益を実現する
- 本株式取得により高成長/高収益をもたらす「業界/業種/カテゴリ」への進出、事業展開加速化を実現

株式会社4strengX事業の市場規模推移

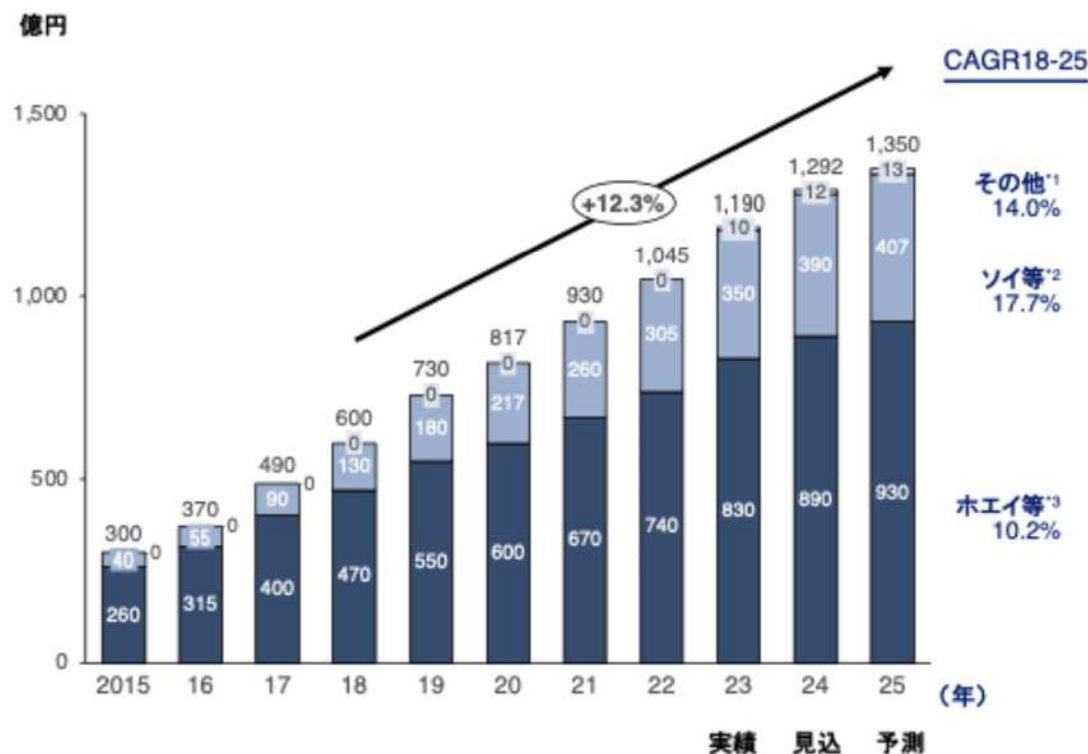


対象会社が位置する市場はプロテインブームや食シーンの多様化を背景に、コロナ禍でも巣ごもり需要で拡大
国内プロテイン市場はコロナ禍前より年率8.4%で堅調に成長、粉末プロテインも2025年には1,300億円超にまで成長

国内プロテイン（タンパク補給食品*1）市場推移（2015-25年）



国内粉末プロテイン 栄養素別市場推移（2015-25年）



*1 RTD、バー・デザート類、サプリメント、加工食品など

Source: 「タンパク補給食品市場 2024」、「タンパク補給食品 2025」（共に富士経済）や日経新聞オンライン（2025年11月10日）など、一般公開情報を元に推計

*1 微生物、昆虫等の新規タンパク質素材、記載CAGRは23-25年

(WPC/WPI)を中心とした動物性タンパク質

Source: 「タンパク補給食品市場 2024」、「タンパク補給食品 2025」（共に富士経済）など、一般公開情報を元に推計

*2 ソイを中心とした植物性タンパク質

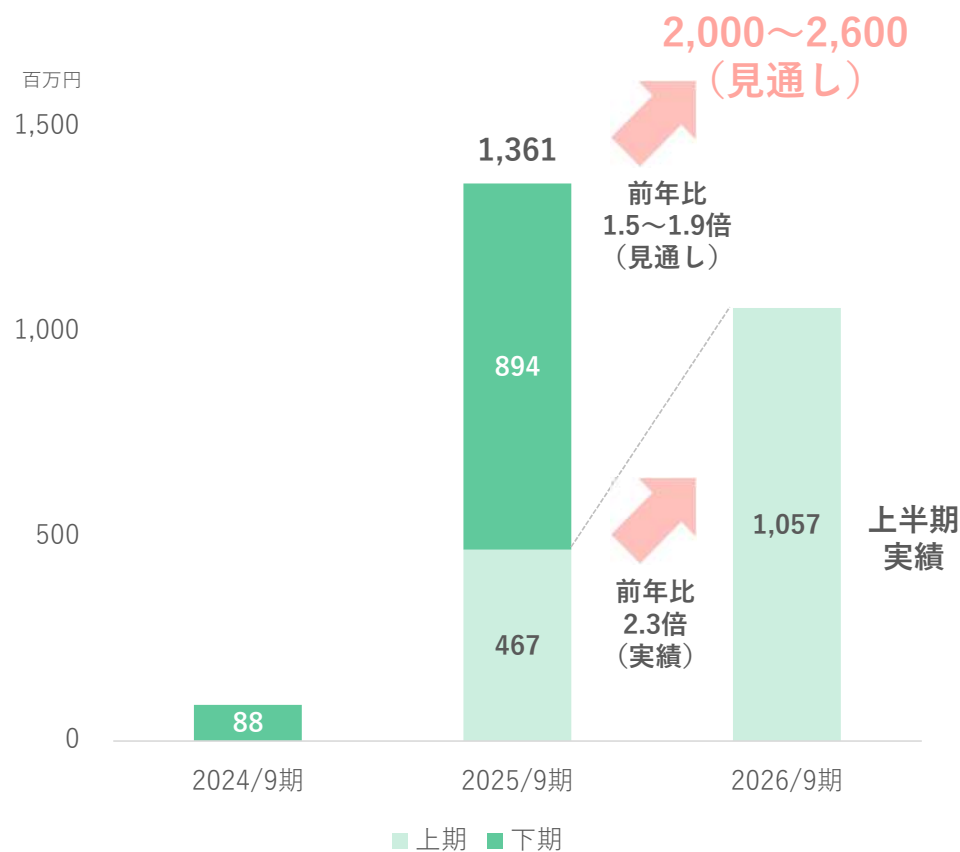
*3 ホエイ

株式会社4strengX事業の業績動向

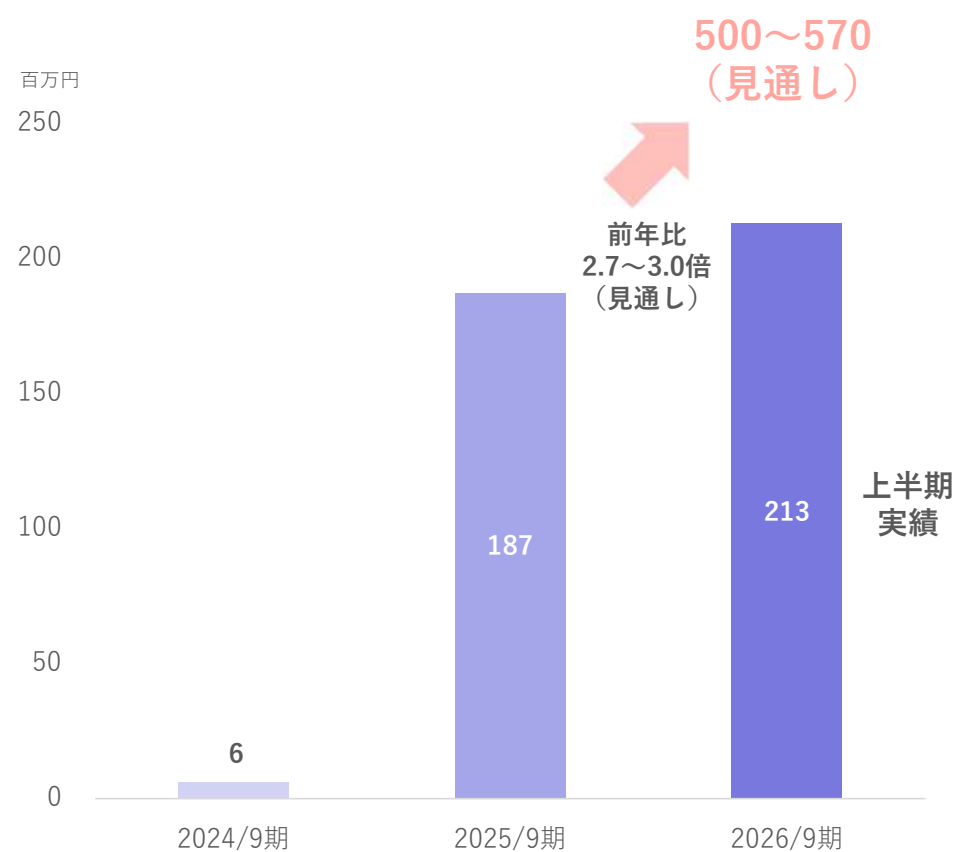


対象会社は売上高、利益ともに急成長を遂げており、今後も確固たる競争優位に基づき継続的な成長が見込まれる
2026年9月期の通期の営業利益は5億円を超える水準となる見通し

売上高推移（2024年9月期～2026年9月期上期）



営業利益推移（2024年9月期～2026年9月期上期）

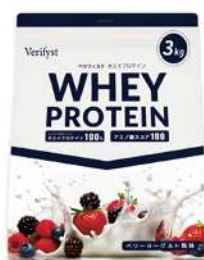


株式会社4strengXが展開する商品ラインナップ

ホエイプロテイン（8フレーバー）、ソイプロテイン（3フレーバー）を中心に展開
新たなカテゴリー、フレーバーも販売予定



WHEY (WPC)



SOY



その他



- 本資料では、当社および関係会社の将来についての計画や戦略、方針、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、経済動向や個人消費、市場需要、税制や諸制度などに関わるリスクや不確実性を含んでいます。
- したがって、上記の不確実性の結果として本資料に記載の計画、戦略、方針、業績に関する予想および見通しについては変更される可能性がございます。また、実際の業績はのれんの金額およびのれんの償却期間や今後の様々な要素により当社の見込みとは異なる可能性のあることをご承知おきください。
- 本資料には監査を受けていない参考数値が含まれており、原則として金額は百万円未満切捨て、それ以外を四捨五入で表示しております。